

# FOR THE NATURE

人と自然が共に生きる未来の創出



## 森

### 「小網代の森」保全活動

リビエラシーボニアマリーナを取り巻く小網代の森は、森林、湿地、干潟から海までが連続して残され、アカテガニなどの希少生物が多様な生態系を形成する場所です。リビエラでは、神奈川県をはじめ、公益財団法人やNPO法人などと協力し、この関東随一の豊かな自然環境と動植物の保全に努めています。



## 海



### アマモの育成支援

「よこすか海の市民会議」への支援を通して豊かな海を守り、海洋生物の生態系を保護する活動に協力しています。



### ビーチクリーン活動

近隣のビーチや歩道のゴミを収集するクリーン活動を定期的に実施。環境美化へ向け取り組んでいます。



### 鯛の稚魚 育成と放流を支援

貴重な水産資源の枯渇化を防ぐことを目的に、小網代湾における「鯛の稚魚の育成と放流」活動を支援。

### 薄膜太陽電池の普及活動

日本で初めて防波堤に薄膜太陽光パネルを設置。再生エネルギーの普及に向け、発電量やCO2削減量を数値で表示し、「見える化」を実施。



「見える化」パネル▶

### 電気自動車の普及活動

社用車に電気自動車を取り入れ、場内に充電スタンドも設置。イベントの開催を通じ、CO2の排出量削減に努めています。



### クリーンエネルギーの研究

世界初の急速充電対応型電池推進船「らいちょう」をシャトルボートとして運航。次世代の水上交通を目指し、東京海洋大学と共同で研究調査を実施。



## 大気

PROFESSIONAL VOICE

### 慶應義塾大学名誉教授 岸由二氏



「小網代の森」は約70ha、東京ドーム15個分の広さ。「流域丸ごとの生態系を残せる関東唯一の場所」であり、2000種以上の生物が確認されています。この貴重な環境を守っていくためには、人の手でこまめに手入れする事が重要です。木々が生い茂りすぎないよう間伐し、植物の多様性を保つことで多様な昆虫が生息する。また、川の流れを調整することで湿地が広がり、

様々な水生昆虫が増え、それらを餌とする鳥が集まる。そんな風人が自然に関わることで、適切な自然環境が保たれ、生物多様性が維持される。リビエラはNPOとも協働し、スタッフによる定期的な保全活動も実施されています。実際に小網代では、野生の蛍が戻ってきました。人と自然が共存できるよう、これからも手を携えて歩んでいければと願っています。

岸由二／小網代野外活動調整会議代表理事 慶應義塾大学名誉教授。専門は進化生態学。小網代や鶴見川流域で流域思考の都市再生にかかわる理論・実践をすすめる。『自然へのまなざし』、『流域地図の作り方』など多くの著書も執筆。

# FOR THE COMMUNITY

地域に根ざした社会貢献の実践

## with 豊島区

### クラシック音楽の普及活動

プロを目指す若い音楽家を支援し、ランチタイムコンサートを毎月開催。誰もが気軽にクラシックを楽しめる場をつくり、クラシック音楽の裾野を広げることで普及に貢献。また、東京都豊島区のまちづくり構想「国際アート・カルチャー都市としま」に積極的に参画しています。

## with 神奈川県

### ワシントンヤパームの育成

景観保全のため若木を植えて育てると共に、安全確保のため自社で年2回の剪定を行い、椰子の成長を管理しています。

### 動物愛護意識の普及

イベント開催を通し神奈川県動物保護センターへの運営資金を募り、同団体とともに動物愛護意識の普及を目指しています。

### 子ども会へのプール開放

学校にプールがない地域の子どもたちにプライベートプールを開放し、水にふれる楽しみや、海に親しみをもってもらえるよう毎年実施。



### 磨き上げ活動

“街や空間を磨き上げることは、自分を磨くことに繋がる”という指針のもと全社員で実施。地域の一員として近隣の歩道や公共トイレを定期的に清掃。



### スポーツ振興支援

ヴァンデ・グローブ単独無寄港世界一周レースに参戦した白石康次郎氏の支援をはじめ、東京五輪「日の丸セーラーズ」へのサポートのほか、セレッソ大阪ともスポンサーシップを結び活動を応援しています。

### 海上交通「シーレーン」開発支援

「かながわ海洋ツーリズム推進協議会」に参画。相模湾の新しい海上交通ルート「シーレーン」の開発を支援。

### 水上パトロール登録

水辺のパトロールやレスキューを推進する「シーバードジャパン」に登録。水難事故を未然に防ぎ、海上安全の啓蒙にも貢献。



PROFESSIONAL VOICE

### ピアニスト 仲道 郁代 氏

クラシック音楽には、ざわついた心を定位置に戻すという力があります。心を動かし、心とじっくり対話させてくれます。クラシック音楽は愛好家を楽しむためだけのものではありません。日々の生活に根ざし、人の人生に寄り添い、生きる力を与えてくれるものです。だからこそ、リビエラで開催するランチタイムコンサートのように、誰でもクラシック音楽に気軽に触れられる環境づくりはとて大切なのです。



仲道 郁代／人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。日本音楽コンクール第1位、エリザベト王妃国際コンクール入賞ほか国内外で受賞を重ね、1987年にデビュー。一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。



### 地域コミュニティの活性化

地域の一員として逗子の駅伝大会に毎年エントリー。住民の方々と親交を通じ、地域活性化を目指します。



### 伝統継承・地域振興

毎年開催される三浦市「道寸祭り」。日本三大古弓馬術のひとつ「笠懸」など伝統行事の運営サポートを通じ、地域振興と伝統継承に寄与。



### 社会福祉協議会へ釣果品寄付

リビエラ主宰の釣り大会における釣果品を三浦市社会福祉協議会に寄付。魚は新鮮なまま調理され、支援施設の方々へ届けられます。

### 《障害児支援》

### 難病児童のための海洋体験プログラム実施

難病と闘う子どもたちにヨットやカヌーなど、誰でも楽しめるマリナイテムなどを準備。大自然との触れ合いを満喫していただけます。



### 障がいをもつ子どもたちへのサポート

児童発達支援事業所「HUGくみ」の活動に協力。夏には海洋体験プログラムなどを企画し、サポートしています。

